



海外 博物館 事情



フランス博物館の情報戦略

フレデリック・ルシーニュ (COE 研究員・RA)

フランスの博物館の情報戦略は多様な側面を含んでいる。そこで、今回はフランス博物館のインターネット上の情報戦略というテーマに絞って報告していこうと思う。行った作業はフランスの博物館や文化行政のウェブサイトを検索したものである。サイトの中に多く出てくる写真、画像やヴァーチャルツアーなどを見ると、インターネットというメディアを通してフランスの博物館や文化行政が訪問者に向けてどのような情報を提供し、なぜそれを提供しているか、という問題を考えさせられる。博物館の内部の活動を直接見学できなかったので、「参観者」の立場でフランス博物館の情報発信の技術や計画を観察してみると、幾つかの特徴を見つけることができる。それは博物館・地方公共団体・中央行政という三つのレベルで、それぞれの役割があるということである。したがってこのレポートでも、問題をその三つのレベルで分けて、まず幾つかの博物館のウェブサイトを紹介したあと、次に地方分権化の流れで文化事業における地方公共団体の新しい役割を検討し、そして最後に文化省とその管轄下にあるフランス博物館局・国立博物館連合の重要な働きを紹介することにする。また、この文章の中に使われている「博物館」という言葉は、普段「美術館」という別称で表現する文化・教育機関を指す場合もあることを、はじめに断っておきたい。

現在フランスで最も重要な民俗学博物館と民族学博物館は移設の真っ最中である。前者、国立民衆芸術・伝統博物館(あるいは「国立民間技艺・伝承博物館」、Musée National des Arts et Traditions Populaires)はマルセイユに移り、ヨーロッパ・地中海文明博物館(Musée des Civilisations de l'Europe et de la Méditerranée)と名を改めて2008年に開館する予定である。後者、アフリカ・オセアニア芸術博物館は人類博物館の豊富な民族誌学的コレクションを受け継いだ形で、エッフェル塔の近くに2006年の開館を目指しているが、今度の名前は「ケー・ブランリー博物館」(Musée du Quai Branly)と改まる。両者とも巨大なプロジェクトである。ここで注

目すべきものは、新しい博物館がまだ開館されていなくてもそれぞれのウェブサイトがすでに存在し、構築中のプロジェクトをインターネットでフォローできることだ。たとえば、ケー・ブランリー博物館の工事現場をライブ・カムで観察ができるのだ。

フランスの博物館は多種多様であり、またそれぞれが異なる省庁に属している。国立博物館の多くは文化省(最近、文化・コミュニケーション省と改名)の管轄下であり、多量の情報を提供するウェブサイトを持っている。ルーブル美術館のように、多言語の機能で、3D案内やヴァーチャルツアーを楽しむことができる。このような徹底した博物館案内は外国人訪問者の関心を引き起こすためであることは言うまでもないが、ギメ美術館(国立アジア美術館、Musée Guimet、パリの人類博物館の近くに設置している)のほぼ全館を見せてくるヴァーチャルツアーにはやはり驚かされる。

通常、法人博物館や私立博物館の資格を持つ「エコ・ミュゼー」、「社会」博物館や科学技術博物館はだいたい国民教育省の管轄下にあるようである。ウェブサイトは機能や画像がシンプルであるほど、逆に家庭的で親しみやすい雰囲気をつくる側面もある。例えば、アルザス地方のエコ・ミュゼー(Écomusée d'Alsace)のサイト(<http://www.ecomusee-alsace.com/carte/accueil.asp>)を見れば分かるが、そこに載せてある地図はわざと繊細に描かれたように思える。

1980年代はじめに採り入れられた行政の地方分権化は、当初から博物館の活動に影響を及ぼした。行政の地方分権化によって責任が再定義された地方公共団体は、その地方の文化事業の活動を振興しようとしており、また各地方に設置してある地方文化事業局(Direction des affaires culturelles、文化省の管轄下)も、特に「社会」博物館を積極的に支援しているようである。その「社会」博物館とはエコ・ミュゼーをも含むカテゴリーで、考古学、歴史、装飾美術や民芸にまで広がり、地方、産業、都市民俗学を扱っている。参考として、ラングドック・

ルシオンの地方文化事業局のウェブサイトには、博物館の臨時展覧会などがきれいに紹介されている。

同じ地方レベルで注目すべき点は、幾つかのローカルな博物館にある絵画や彫刻を、一つのテーマを軸として集めた、いわゆる「ヴァーチャル博物館」を見せてくれるサイトである。このような試みはまだ少ないようであるが、興味深い。例えば、中央地方の博物館のコレクションを見事に紹介する「子供への眼差し、子供の眼差し (Regards sur l'enfant, regards d'enfant)」というヴァーチャル展覧会を見ると参考になる (<http://www.musees.regioncentre.fr/defaulttest.php>)

また、地方の博物館の活動を支えているのは、エコ・ミュージー・社会博物館連盟 (FEMS、プザンソンに設置) と、科学技術博物館のために情報資源センターの役割を果たす博物誌学協力・情報局 (OCIM、ディジョンに設置) という教育機関である。この二つの機関は博物館の学芸員に向けてインターネット上の情報戦略に関する重要な情報や講座も提供している。博物誌学協力・情報局のウェブサイトは、地方の科学技術博物館の展示のあり方を知るためにも重要な写真集を一覧している (<http://www.ocim.fr/sommaire/centre/photos.html>)。ここには情報戦略に対する積極的、かつオープンな扱い方の姿勢が窺える。

最後に、民俗学の部門の場合は、地方民俗学振興法人 (Ethnopôle) の活動も注意を払う必要がある。たとえばエステリアウム法人のウェブサイト (<http://www.estuarium.org/site/default.htm>) はロアール川河口の民俗学的調査を行うこの Ethnopôle の最新活動を紹介しているが、最先端の研究者とローカルな博物館との連帯の密接さが窺える。

国レベルでは、文化・コミュニケーション省の役割はやはり大きい。いくら地方分権化といっても、インターネット上の情報戦略の中心的な担い手はこの省である。まず、文化省の膨大なウェブサイトの中には多くの国立博物館のウェブサイトも入っている (例えば国立民衆芸術・伝統博物館)。そして、国立・私立博物館に関するデータベースを載せている: フランス博物館局博物館データベース、フランス文化省関連データベース一覧、博物館関係文献目録、フランス博物館局物品データベース等々。特にフランス博物館局物品データベース (<http://www.culture.gouv.fr/documentation/ccmf/pres.htm>) は、考古学、民族学 (民俗学も含む) 芸術の三部門に分けられており、フランスの博物館の有名な絵画のみならず、日常生活の民具まで、ときには写真付の、博物館学的ファイルカードの一覧 (下図参照) を提示している。掲載したカンペール博物館の寝台は、これらのカードの一例 (下図参照) である。また文化省の、インターネット上の情報戦略に関する役割は所有権・著作権の規定や管理、ヨーロッパ連合レベルでの情報記号化の計画進行など、他にもたくさんあるようである。

最後に取り上げたいのは文化省の管轄下にあるフランス国立美術館連合 (Réunion des Musées Nationaux) である。フランス国立美術館連合は日本語版のフランス国立美術館連合日本法人のサイトもある (<http://www.museums.france.or.jp/>) が、フランス語版ではインターネットを通してフランス美術館のミュージアムグッズを販売しているようである。文化省の管轄下の国立記念建築局 (Centre des Monuments nationaux) も、外国の訪問者に向けて便利な英語版のサイトがあるが、アクセスする価値があるだろう (www.monum.fr)

	1	Dénomination	lit-clos
	2	Lieu d'exécution/utilisation	Finistère:Léon (lieu d'exécution)
	3	Lieu de conservation	Quimper;musée départemental Breton
	4	N° inventaire	R.2002.00.33;125 (Numéro de dossier)
	5	Notice complète	

フランス博物館局物品データベースのファイルカードの一例。フランス語の表示の意味は次の通りである。

1. 名称:《リ・クロ》、「閉ざされた寝台」
2. 創作場所・使用場所: フィニステール県にあるレオンという町
3. 保存場所: カンペールのブルターニュ県立博物館
4. 目録番号: R.2002.00.33 ;125 (ファイル番号)
5. 詳細説明【注意: ここには詳細表示を省いたが、ウェブサイトでは一頁ぐらいの詳細が表示されている】

参考文献 ジャック・サロワ著、波多野宏之・永尾信之訳『フランスの美術館・博物館』
東京: 白水社、2003.10。(文庫クセジュ; 867)